

「悪性脳腫瘍由来癌幹細胞を標的とした新規治療法の開発に向けた分子基盤の構築」へのご協力のお願い

研究機関名：関西医科大学

研究機関の長：友田幸一

研究責任者：関西医科大学解剖学第二講座 助教 中野 洋輔

1. 研究の概要

背景、目的、意義：

近年、腫瘍内に存在する癌幹細胞とよばれる細胞が、腫瘍形成や再発の要因になることが知られるようになってきました。そのため、癌幹細胞を標的とした治療は、有用であると考えられるようになってきましたが、癌幹細胞についての詳細な情報が不足しているため、未だに治療法は開発されていません。私達は、これまでの基礎研究から、治療標的になるかもしれない候補分子をいくつか見出しています。この研究では、脳腫瘍患者さんの診断結果・手術で摘出された腫瘍組織・腫瘍組織から樹立された細胞株を使用させていただくことによって、これらの候補分子が治療標的となるか否かを明らかにし、将来的な癌幹細胞を標的とした治療法の開発に繋げたいと考えています。

2. 研究の方法

対象となる患者さん：

平成 12 年 1 月 1 日以降に関西医科大学脳神経外科で脳腫瘍に対する治療を受けられた方。

研究期間：

倫理委員会承認後より平成 36 年 3 月 31 日

研究方法：

研究者が、脳腫瘍組織及び腫瘍組織に由来する細胞を用いて、癌幹細胞における治療候補分子の機能解析を行います。

使用する情報：

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・年齢、性別、診断名
- ・治療経過

情報の保存、二次利用：

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後 10 年間、関西医科大学脳神経外科で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う

際は、脳神経外科学講座のホームページおよび外来掲示板にポスターを掲示してお知らせします。

3. 研究計画書及び研究の方法に関する情報の提供および個人情報の開示について

研究に関する情報の提供: 他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画書および研究の方法に関する資料の閲覧や提供を行います。

個人情報について: 研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、患者さん個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。患者さんからご自身の情報開示等の請求は個々に対応いたします。

利益相反について: この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

なお、この研究は、医学倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、病院長の許可を受けています。この研究についてご質問などがありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様の不利益が生じることはありません。

〈問い合わせ・連絡先〉

関西医科大学 脳神経外科 助教 岩田亮一

電話:072-804-0101(平日:9時~17時)

ファックス:072-804-2502